

RTPatch[®]

世界で最も使われている商用バイナリ差分アップデートツール



概要

RTPatch は、アップデート時の新旧ファイル・データの差分をパッチとして作成・配布するアップデートツールです。変更箇所の差分のみを配布するためオリジナルデータから最大 99.9% までファイルサイズを削減し、配信コスト、アップデート時間、サーバ負荷を大幅に削減・短縮します。

またアップデートに伴うメディア作成・配布や、それに関わる人的・物理的コストも削減できます。

Windows, Linux をはじめ、組み型向けの Embedded Linux など、様々なプラットフォームに対応しています。

RTPatchの7つのすぐれたポイント



大容量ファイル 差分作成に対応

ギガバイト以上の
大容量ファイルも
高速で差分作成

※スモールリソース版ATTOPATCHを除く



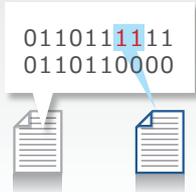
アップデートファイル のオンライン配信で コスト削減

ダウンロードサイズの大幅縮小
でオンライン配信を実現
媒体作成・配送のコストも削減



ソフトウェアへの 信頼性の向上

機能追加および修正を
迅速に行うことでソフト
ウェアへの信頼性が
向上します



バイナリレベルの 変更部分のみを 抽出した差分ファイル

ソフトウェアの変更後ファイルと
変更前を比較し
差分ファイルを作成します



組み型機器の アップデートにも有効

情報家電、OA機器、FA機器など
組み型機器の
アップデートにも有効です

minimum
55KB
SPACE



最少55KBの 空きスペースで稼働

最少必要メモリサイズは
プログラム41KB+ワーク領域14KB
限られたハードリソース上でも
稼働します

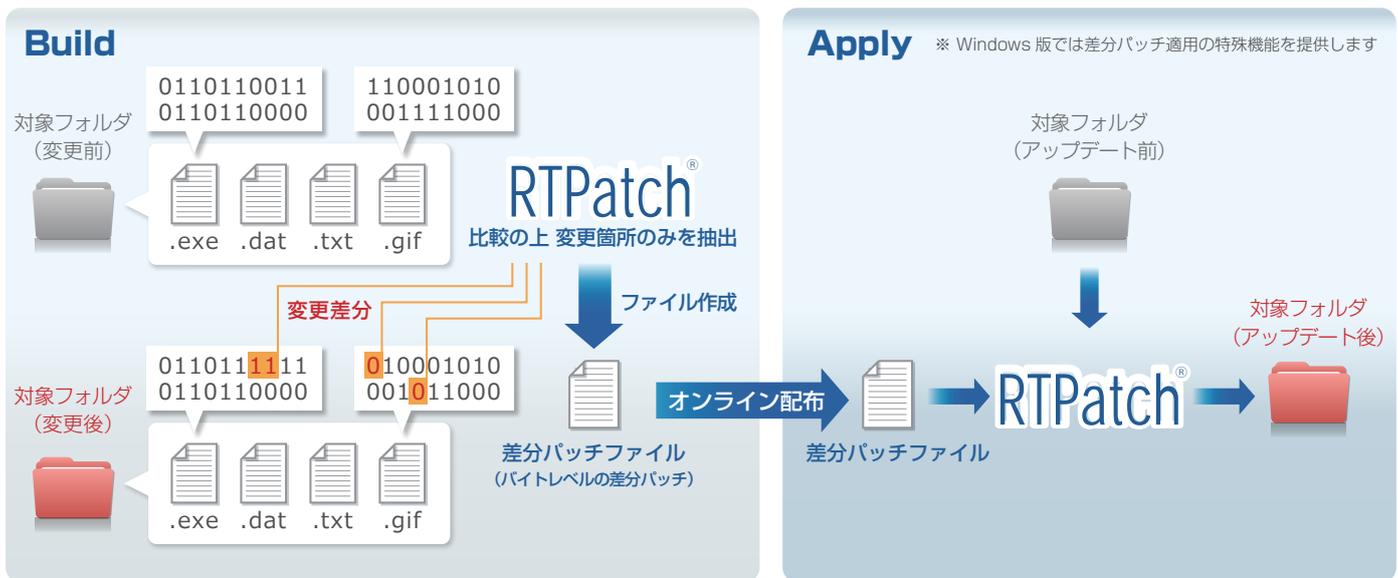
※スモールリソース版ATTOPATCH

sizeDOWN
99.9%

アップデート用の ファイルサイズ縮小 最大99.9%

ダウンロードの時間と
費用を節約します

▶ Build(作成)とApply(適用)2つのステップでパッチ作成



Build 差分パッチの作成

変更箇所の大きさに関わらず、アップデートはプログラム開発者に膨大な作業と時間を強要します。アップデートの作業を大幅に簡素化します。



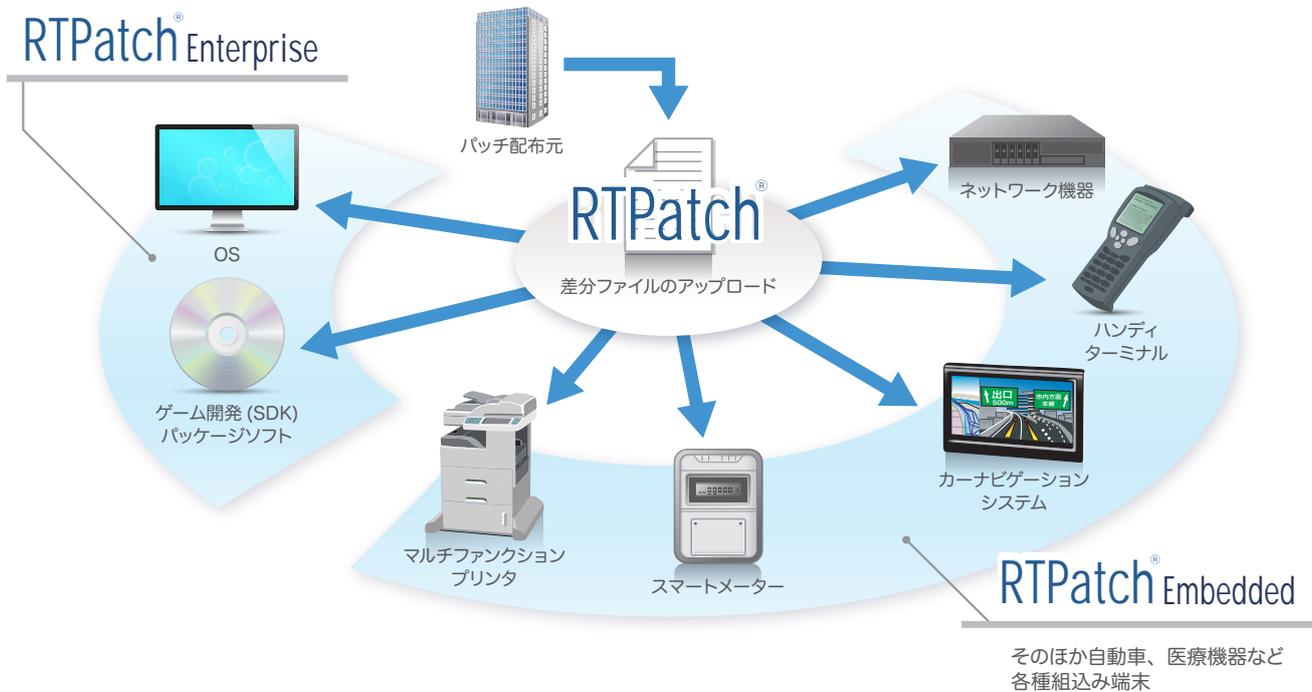
Apply 差分パッチの適用

エンドユーザはアップデートのためにプログラム全体を再インストールする必要はなくパッチをあてるだけで済みます。

▶ 導入事例

RTPatchは全世界500社以上でその高い機能と安全性を評価され、様々なニーズに合わせてアップデートツールとして採用されています。

差分ファイルの高い縮小率やアップデートを安全で確実にできることから、日本では特にカーナビゲーションシステム、宅配使用のハンディターミナル、ネットワークプリンタのアップデートなど、組み込み端末のソフト・データのアップデートツールとして多数採用されています。



■ RTPatchはPocket Soft社の登録商標です。
■ その他、本カタログに記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

NISSIN SYSTEMS 株式会社日新システムズ

NISSIN ELECTRIC

〒600-8482
京都市下京区堀川通綾小路下る綾堀川町293-1
TEL(075)344-7961 FAX(075)344-7887

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2丁目2番地1 KANDA SQUARE 19階
TEL(03)6739-9717 FAX(03)6739-9721

www.co-nss.co.jp